



ROOT 65

The Roots of Recruit Group

リクルートグループ 創業65周年誌

時代は今、大きな変化の時

ROOT 65
Opening Message
巻頭の言葉
from
CEO

リクルートグループは創業から65年を迎えました。大学新聞専門の広告事業から始まった事業は、マッチングプラットフォーム、人材派遣、SaaSによる業務支援など、時代とともに大きく変化。2014年には上場し、現在はグループの売上比率も従業員比率も約半数が日本国外となっています。

これは、私たちが大切にしている価値観である「新しい価値の創造／Wow the World」を実践してきた結果だと思っています。「私たちは情報誌ビジネスの会社だ」とか「広告業の会社だ」と、過去に決めていたら生き残れなかったかもしれません。

そして、今まさにA-の進化によって、「未来の当たり前」が変わりつつあるタイミングに差し掛かっています。

例えばこれまで私たちが提供していたサービスでは、求職者の方には「営業・渋谷」というキーワードで検索してもらい、住まいを探す方には「希望の駅と間取りを

新しい価値の創造でしか

選んでください」と問うようなものしか提供できていませんでした。

しかし、A-が進化する未来では、「初めてバイトを探すのですが、学校が終わった空き時間でできる時給1500円の楽なバイトってありますか？できれば10分以上通勤もしたくないです」とか、「結婚して子どもがひとり生まれたが、幼稚園も小学校も遠くない、できれば、子ども部屋がしっかり持てるようなマンションを30

世界は変えられない

00万円以下で買いたいな」など、その領域の専門家に相談しているような気持ちで、仕事探しや家探しができるようなサービスになっていかなければなりません。

そして、経営者の皆さんからの「経営する美容室でヘッドスパを始めようかなと思うが、いくらにすべき?」とか、「うちのレストランでバイトを増やすには時給を上げないといけないのかな?」などの相談には、経営コンサルタントのようにアシスト

できるようにならなければと思っています。65周年を迎える今は、多くの方と共に歩んできた私たちならではの新しいサービス提供のチャンスにあふれているのです。

私が働き始めた1990年代は、「インターネットで世界が変わるぞ」と皆が挑戦し始めた時代でした。AIの進化で、人々の毎日が大きく変わろうとしている今、私はその時以上に、これまでにないほどに、ワクワクしています。新しい価値の創造でしか世界は変えられない。世界中があっと驚く「未来の当たり前」を創りませんか。

世界を変えられる可能性に満ちたこの時代に、私たちはリクルートグループに集っています。創業から65年間、先人たちがそうしてきたように、私たち一人ひとりが遊び心を忘れずに、常識を疑うことから始めればいい。失敗すら良質な学びに変え、徹底的にこだわり、お互いの情熱に賭け合いながら、変わり続けることを楽しんでいきましょう。

いでこば・ひさゆき

出木場久征

リクルートホールディングス

代表取締役社長 兼 CEO、経営企画本部、HRテクノロジー事業担当

1999年リクルートに入社。株式会社JCMに出向し、『カーセンサー』の営業を担当。2004年、国内旅行ディビジョン企画室に異動。数々の情報誌のネットメディア化を実現。09年、カスタマーアクションプラットフォーム推進室 室長、11年全社WEB戦略室 室長。12年リクルート執行役員を経て、同年、自らM&AをリードしたIndeedのChairmanに就任。同社CEO & Presidentを経て、16年リクルートホールディングス常務執行役員、グローバルオンラインHR SBU（現HRテクノロジーSBU）長に。18年専務執行役員、19年取締役兼専務執行役員、20年取締役兼副社長執行役員。21年4月より現職



共に「未来の当たり前」を創ろう

20
25

令和7年

1月

『Airワーク 給与支払』と『COIN+』が連携
『エアウォレット』を通じた賃金のデジタル払い提供開始

24年、(株)リクルートMUFGビジネスが賃金のデジタル払いを手掛ける資金移動業者として
厚生労働大臣より指定を受領
〈リクルート／リクルートMUFGビジネス〉

新しい『リクナビ』サービススタート

(27年卒以降全学年対象に、企業単位からコース単位の掲載に。『ガクチカAIアシスタント』搭載)
〈リクルート〉

4月

(株)インディードリクルートパートナーズ
(株)インディードリクルートテクノロジーズ
運営開始 (予定)

マッチング&ソリューションSBUの人材領域をHRテクノロジーSBUへ移管
〈リクルートホールディングス〉

世界の動き

1月 ドナルド・トランプ氏が第47代
アメリカ合衆国大統領に。45代以来2
度目の就任／中国のDeepSeek社が生
成AI「R1」を公開。モデル開発費は
「Chat GPT」の10分の1以下の価格、
5日間で世界で160万回ダウンロード
される

グループの強みを、いいとこどり 地球上の「働く」を支える インフラになる

「HR領域のNo.1サービスはどうあるべきか。」2020年頃、アメリカのIndeedオフィスに出向してA

ーマッチングシステムであるI2A※などの立ち上げとグロースを担当した時、そんなことを考えていま

した。企業の採用担当者は求人に対して大量の応募を受けて多忙、求職者は返信が来なくてさらに応募するという負のループを、I2Aを導入す

ることで一定解消できた。でもまだマッチングの進化が足りない気がする。出木場久征さん（当時リクルー

トホールディングス取締役兼副社長執行役員）とそんな雑談をした時、「ヒントは日本のHRエージェン

トにあると思う」と予言めいた言葉をもらいました。「そのアイデア、やり残したままでいいの？」と発破もかけられつつ、テクノロジーを活用して、日本のHR領域のプロダクトを進化させる役割を任せてもらえたのは願ってもない機会でした。世

の中の「モノサシ」が変わるような何かをやりたい、と働いてきましたから。

帰国して感動しましたね。そこにはIndeedにはなかった細かい採用決定に関するデータ、そしてキャリア

アドバイザーの深い求職者理解・企業理解に基づいたマッチングの知見がありました。当時の経営陣の議論では、日本のHR領域のメディアも

全て、Indeedに統一するという戦略も検討されていたんです。ですが宝の山を見てしまった自分には、「いやいや、どう考えてもそれぞれの強みを、いいとこどり」したほうが良

くないですか」と思えてくる。日本でマッチングを進化させ、連携求人

サイトごとに最適化された複数のマッチングロジックを持つプラットフォームを開発、グローバル転用すべきだ。そう出木場さんに進言し、21年の秋には「Cro-wt Project」（コラム参照）という形で進めることに

なつたのです。

『レジュメ』の開発、Indeedによる『Indeed PLUS』の提供と同時にリクルートの参画なども始まり、今は土壌工事が完了したステータス。(株)インディードリクルートパートナーズ、(株)インディードリクルートテクノロジーーズの設立により組織体制も整い、目指す世界の実現に向けて2合目にきた感覚です。

変革には逆風はつきもので、短期的な利益やマーケットシェアについては社内の方々から厳しく言われ

ました。ですが、「10年後の仕事探しも今のユーザー体験のままなんだっけ？」というシンプルなお問い

かけ、自分たちをここまで支えてくれました。HRというひとつのドメインにイノベーションを起こせるかもしれないなんて、最高にワクワク

しています。

※I2A: Invite to Applyの略称。求職者・求人企業の双方が満足できるような、高速かつ精度の高いマッチングを実現するレコメンダの仕組み

Column

HR techの未来を作るCro-wt Project

HRテクノロジーSBU、マッチング&ソリューションSBU、人材派遣SBU横断でHR techによるUX進化を目指すCro-wt Project（Create opportunities with technologyの略称）は、2021年10月に開始された。プロジェクト関連の沿革は下記の通り。

2021年3月

『リクルートエージェンツ』でI2Aリリース

求職者のプロフィールと求人の募集要件を考慮し、双方の希望にマッチするレコメンダを送付する機能を実装

2022年12月 『レジュメ』リリース

経験職種に応じた質問に選択式で答えていくだけで簡単に職務経歴書が作成できる『レジュメ』を『リクナビNEXT』に導入

2023年12月

『リクルートダイレクトスカウト』リニューアル

『レジュメ』やAIによるレコメンダ機能を導入。テクノロジーと人材紹介のノウハウを活用し、求

職者と企業の出会いをより良いものにするサービスとしてリニューアル

2024年1月

Indeedが『Indeed PLUS』提供開始

複数の求人サイト※と複数のATS（Applicant Tracking Systemの略。採用管理システム）をつなぎ、求職者と求人のより効率的なマッチングを実現するために開発された求人配信プラットフォーム

2025年1月 新しい『リクナビ』提供開始

2027年卒以降の全学年を対象としたサイトとしてリニューアルし、ロゴやサイトデザインも変更。企業単位の掲載から職種やコース単位での掲載に変更、レジュメや『ガクチカAIアシスタント』機能を導入。クリック課金で採用コストの最適化が可能に

※『Indeed』『リクナビNEXT』『タウンワーク』『フロム・エーナビ』『はたらいく』『とらば一ゆ』『リクナビ派遣』『物流・ドライバー求人サーチ』に加え2024年10月から『求人ジャーナルネット』『ディスターNET』など他社も参画



甲斐駿介 さん

リクルートホールディングス 経営企画本部 Cro-wt Project
兼 リクルート プロダクト統括本部 Cro-wt Office

大学院卒業後、2016年リクルートライフスタイル（現リクルート）に入社。『Airレジ』開発、17年『Airメイト』の開発 兼 プロダクト責任者、19年Indeedに異動し渡米。I2AやInstant matchなどの機能開発に携わる。21年8月よりリクルートホールディングスHead of JP HR-tech productとなり、Cro-wt Projectを経て、22年4月Cro-wt Office設立時に同組織のVice President（以下VP）に。同年11月より中途プロダクトマネジメントユニットのVPを兼任